

木材ジャーナル 名古屋・世ぶ

令和3年5月号 No.168

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

令和3年度 名古屋木材業界新入社員歓迎会・講習会

令和3年4月9日（金）午後1時から名古屋木材会館において、名古屋木材組合員各社の新入社員28名（参加企業7社）を迎え、名古屋木材組合主催、名古屋木材青壮年会主管により歓迎会、講習会が開催された。

最初に西垣洋一組合長より「SDGsやカーボンニュートラルで木材は見直されています。日本の木材業界も世界へ羽ばたける段階になった」と業界について述べ、社会人の心構えとして幕末の志士、橋本左内が15歳の時に著した「啓発録」を紹介し、「コロナに負けず頑張ってください」と激励の言葉を述べた。

この後、新入社員を代表して杵間美奈さん（桑原木材株）が「厳しい就職難の中で木材業界に入った。この意味をかみしめ、早く一人前になるよう努力したい」と誓いの言葉を述べた。

続いて講習会①「新社会人のためのビジネス・マナー」として外部専門講師 矢田美穂子先生から、挨拶の仕方・名刺交換・電話対応・来客対応などを実習した。

次に②「木材の基礎知識」として、名古屋木材青壮年会 保坂将光氏が講師となり、商品の基礎知識・建築の基礎知識・流通の基礎知識の講習会が行われた。



“いま、木に本気” ぐらしに活かそう木の良さを

さわやかとーく

ゲスト：鈴木 善一朗 名古屋木材青壮年會會長
聞き手：川村 寿男 広報委員長 (名握)

毎年、この「さわやかとーく」にゲストとして名古屋木材青壮年會 (NMS) の新會長をお招きしています。今回は4月9日に開催された會員總會で第59代會長に就任した鈴木善一朗さんをお招きしました。新型コロナウイルス禍も2年目と、長期化する中で経済的、社会的な閉塞感も高まっている状況にあります。60年以上の長い歴史をもつNMSにとっても、試練の時代といえるかもしれません。業界の未来を繋ぐ若手の組織として、どう活動を続けていくか試されようとしています。新しい會長としての抱負をお聞きしました。

(聞き手は川村 寿男広報委員長)

—コロナ禍2年目という状況で、会の運営もいろいろ制限されると思いますが、今年1年の活動をどう、お考えでしょうか。

鈴木 コロナ禍も今年は大丈夫だと思っていたが、そうもいかないようです。これまで全国大会などもあって會員間のコミュニケーションもとれていましたが、この1年間は活動の制限を強いられました。野間直前會長のリーダーシップでオンライン活動などを進めてきましたが、やはり一同が顔を合わせることができないので限界もありました。今年は名古屋だけでなく、愛知や全国の仲間の皆さんともしっかりと関わりを深める態勢を強めていきたいと思っています。

正直なところ、コロナ禍など先行きも不透明ですし、この状況下で具体的に何ができるのか分かりません。ただ、苦しい時に頑張ることは大切ですが、それだけではなく、こういう時にこそ会の原点でもある、會員の交流を深め、楽しく活動をして行くことが必要だと思っています。ですから私の會長スローガンも、「みんなが楽しく、みんなを楽しく」とさせていただきました。

—日常活動はオンラインを継続ですね。

鈴木 コロナで昨年は總會も開催できませんでした。今年は何んとか限られた人数で開催することができました。この1年間で、ZOOMの会合もかなり慣れてきました。それは、仕事の上でもずいぶんプラスですし、他の會員の皆さんもそうだと思います。今年度も集まるのが制限されると思いますので、オンラインによる活動は継続して実施していくつもりです。

—現在の會員数は何人ですか。

鈴木 一昨年に名古屋で開催された全国大会の後、昨年は少し會員が減って32名のスタートでし

た。今年は3人の會員が定年ですが、引き続き特別會員として残って頂くことになりました。それに3人の賛助會員を加え、31人のスタートです。

會員を年齢別で見ると、20代が2名と少なく、業界の厳しい現状を映していま

すが、一方で30代が16名、40代が7名と続きます。NMSも一時期は40代が多かった時もありましたが、全体の人数が減った中でも、世代交代が進み、若い新しい世代が中心になってきているとも言えます。厳しい状況ではありますが、若い仲間と一緒に楽しく活動していけたらと思います。

—現在のお仕事は、木材市場という木材流通の要ですね。現状はどうか。

鈴木 5年前から西部市場の市場長を務めています。どの分野でも同じでしょうが、流通短絡化など変化が進んでおり大変です。それに最近では米材を発端に木材価格が値上がりしています。ただ一等材は買ってもらっても役物はなかなか売れない状況です。市場は役物も並材もセットされた市場ですので、それらのバランスのとれた販売が難しいですね。

それと若い世代とその父親の世代とではかなり考え方が違います。木材を見る目も、親父さん世代は、役物と並材とをしっかりと区別した木材販売に重きをおきますが、若い世代は木材を全般に眺めて建材、住宅機器全体に関心が強いようです。その当たりの世代ギャップの調整も課題ですね。

—先行きを見通すことは難しいですが、若い皆さんに伝えることは「一生懸命がんばること」以外にはないと思います。大変な時代ですが、若い時にしかできない交流を深め、ぜひ頑張ってください。

鈴木 善一朗氏 (すずき・ぜんいちろう)

昭和55年3月生まれ。41歳。学校卒業後、東京で2年ほどの会社員生活の後、父君鈴木和雄氏が社長を務める(株)東海木材相互市場に入社。東海プレカットを経て、平成27年から西部市場の市場長に就任。家庭では小学生、幼稚園児二人の男子の父親。



◆ 合縁木縁 ◆

「 YouTube広告 」

皆さん普段YouTubeをご覧になることはあるでしょうか？

脱テレビ時代の到来と囁かれる昨今、インターネット動画サイトが数多く台頭し老若男女問わずYouTubeをはじめとする各動画サイトを視聴される機会が増えたかと思います。私も普段テレビを視聴する時間よりもYouTubeを視聴する時間が長くなったと感じます。

YouTubeで動画視聴をしたことがある方はご経験があるかと思いますが、動画の途中で企業や商品PRの広告動画が差し込まれることがあります。普段は私もスキップし広告に目を向ける事はありませんでした。先日いつものようにYouTubeを視聴していた際、お得意先の某地場工務店様の広告が流れ得意先であったこととYouTube広告を活用されていることに驚き、初めて広告動画を視聴しました。これをきっかけにYouTube広告はどれ程の効果があるのか気になり調べてみました。

効果1：より多くのユーザーに自社の商品やサービスを認知してもらえる

効果2：検討中のユーザーに利用や購入を後押しできる

効果3：地域や時間を指定して配信できるので特定のターゲットに届けられる

上記のような効果があるようです。

主流であったテレビCMはCMを流す各キー局によって設定されている単価に加え起用するタレントさんとの契約料、CMを流す時間帯・期間×視聴率によって変動するテレビCMの宣伝広告費は何百万、何千万単位とよく耳にします。比較するとYouTube広告は広告を流すだけであれば3～20万程の費用で行えるコストパフォーマンスも魅力です。

このネット社会において、従来主流であった方法以外にも企業コマースを打つ方法は多種多様です。各企業が時代に沿った手段を活用し求めるターゲット層に広告を打つことで絶大な効果が期待できます。私自身も従来のやり方と併用して時代に沿ったやり方を上手に活用しお客様へ価値提供を行っていききたいと思います。

今回は、材惣木材株式会社 丹羽 佑斗氏にお願いします。

◆ 自遊ご異見番 ◆

「 伝統の復活と新たなスタート 」

2年ぶりにセンバツ高校野球が開催されました。コロナ禍でもあり、入場行進・ブラスバンドによる応援もリモートで実施されるという新しいスタイルでの開催となりましたが、いずれにせよ開催されたこと自体が大昔の高校球児としては喜ばしい限りでした。

東海エリアからは、センバツ出場回数が共に30回以上ある中京大中京高、県岐阜商という伝統校が出場しました。秋季の東海大会決勝は2年連続同一カードであり、昨年の決勝戦を現地で観戦しました。下手なプロ野球観戦よりも楽しく、今思えばその野球観戦以降、コロナ禍で高校野球、プロ野球をスタンドで一切観戦しておらず大変貴重な観戦であったと思います。

この両チームが東海地区代表としてセンバツ出場となったのですが、この2チームで気になったのが『ユニフォーム』でした。中京大中京高は、私が現役時代に対戦した立襟の昔のユニフォームに戻しましたが、県岐阜商は以前の濃紺を基調とした伝統のユニフォームを大胆に変更し、ストッキング、アンダーシャツは青色と黄色を使用した明るいユニフォームに変更しました。この両校のユニフォーム変更は対照的です。中京大中京高は『伝統の復活』を予感させ、また賛否両論ありますが県岐阜商のユニフォーム変更は、『新たなスタート』を予感させます。たかが『ユニフォーム』と思われるかもしれませんが、スポーツ選手にとっては戦闘着であり、元高校球児としては、本年優勝した縦縞の私立高や強豪校のユニフォーム、胸の校名をただで「勝負あり」として試合をした記憶があります。

昨年、今年のメンバーを見ても、両校とも出身は地元の東海エリア出身の選手ばかりであり、全国から選手を揃えている訳ではありません。しかも県岐阜商は公立校であり選手獲得は制限されています。監督の指導力もありますが、しばらく甲子園出場出来なかった両校が2年連続で甲子園出場を果たしたことはユニフォーム変更も少なからず影響があったように思います。

また我々の木材業界は、この両校と同じく大変長い歴史のある会社が多い業界ですが、何か新しい改革やスタートをしようという様々な試みのなかで「かけ声」はかけますが、かけ声倒れに終わることは多々あります。「伝統」を復活させるような「器」の復活、あるいは世間からの批判を受けながらも改革のために目に見える形で「器」を変えることも、新たなスタートの一つの方法として考えてみてはいかがでしょうか。

「名古屋飛島高速線」の整備に関するアンケート調査のお願い

このたび、名古屋駅と飛島村臨海部を直接結ぶ新しい高速バス「名古屋飛島高速線」の運行が三重交通株式会社・飛島村・名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会で検討されています。

そこで飛島村臨海部で勤務する「従業員のみなさまの日頃の通勤実態と、新しい名古屋飛島高速線の利用見通し」を確認するため、アンケート調査を行いたいと飛島村より要請がありましたので、アンケート調査票が届きましたらご記入いただきご協力いただきますようお願い致します。

ご注意

アンケート調査結果により利用見通しが一定の水準に達しない場合、三重交通株式会社による「名古屋飛島高速線」は実現しない場合があります。

☆☆☆ グランドゴルフ場（富浜緑地内芝生広場）オープンのお知らせ☆☆☆

- 利用案内 (1) 利用時間 平日午前10:00から午後4:30までです。
 (2) 利用料金は無料です。
 (3) 利用者は自転車貸出所で利用受付してください。最終受付は午後3:30です。
 (4) コース内での飲食・喫煙はご遠慮下さい。
 (5) ゴミは必ず持ち帰ってください。
 (6) 大会開催時及び草刈作業時はコースの利用が出来ませんのでご了承願います。

- お願い (1) ホールセッティングは利用者にてお願いします。ホールセットは無料貸出します。
 (2) コース利用時間は2時間以内でお願いします。
 (3) 怪我、器物破損等及び他の者に対しての損傷は利用者の自己責任のもと、ルールやエチケットを守り楽しくプレーして下さい。

問合せ先

富浜緑地(自転車貸出所)
TEL.090-7674-7074

第71回全名古屋木材産業野球大会開幕

4月11日(日曜)に、第71回全名古屋木材産業野球大会(当組合共催)が、全9チームの参加で木場南C球場にてスタートしました。大会委員長の江口達郎氏は挨拶で「大会の趣旨は、親睦と健康増進です。怪我のないように元気に楽しくプレーして下さい。」と激励されました。

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

自動車や自動車のナンバープレートが盗まれる被害が多発!

愛知県内で「自動車の盗難被害」が多発していますが、その増加に拍車をかけるのが「自動車のナンバープレート盗難」です。自動車盗の犯人は、車を盗んだ後、盗難ナンバープレートに付け替えて犯罪に利用するからです。

盗難ナンバープレートを犯罪に利用させないために、ナンバープレート盗難防止ネジ等の対策をお願いします。

蟹江警察署 生活安全課生活安全係 TEL.0567-95-0110

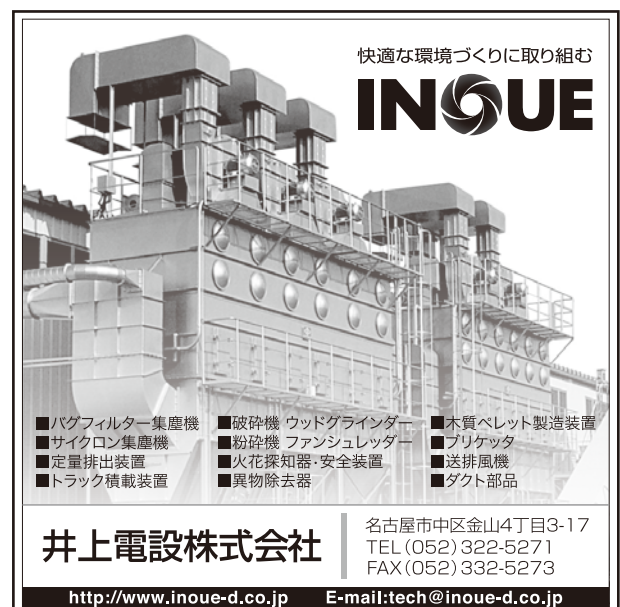
◆ 広告コーナー



人と未来のために高い技術を誇るプレカットシステムのトップメーカー

MIYAGAWA

宮川工機株式会社
 豊橋市花田町字中ノ坪53番地 TEL: 0532-31-1251(代)
 URL: <https://www.miyagawakoki.co.jp/>



快適な環境づくりに取り組む

INOUE

■ バグフィルター集塵機	■ 破砕機 ウッドグライnder	■ 木質ペレット製造装置
■ サイクロン集塵機	■ 粉碎機 ファンシュレッター	■ プリケッタ
■ 定量排出装置	■ 火花検知器・安全装置	■ 送排風機
■ トラック積載装置	■ 異物除去器	■ ダクト部品

井上電設株式会社
 名古屋市中区金山4丁目3-17
 TEL (052) 322-5271
 FAX (052) 332-5273
<http://www.inoue-d.co.jp> E-mail: tech@inoue-d.co.jp

発行 名古屋木材組合

発行者 西垣 洋一

〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10

TEL <052> 331-9386

FAX <052> 322-3376

【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合

発行者 服部 伸一

〒490-1444 海部郡飛島村木場1-74

TEL <0567> 57-2017

FAX <0567> 57-2018

【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会